



はなび 花火はどんなつくりになっているの

はなび 花火には、いろいろな種類しゅるいがある

はなびには、うちあげ花火、仕かけ花火、それに、おもちゃの花火があります。うちあげ花火にも、割物とポカ玉（つりもの）があります。

割物は、爆発する力が強い火薬をたくさん使います。ポカ玉は割物に比べて、火薬の量が少なくてすみます。

ほし かやく どうかせん 星、火薬、導火線からできている

はなびには、いろいろな種類しゅるいがあるので、ここでは、うちあげ花火の、割物のつくりについて説明します。

そのつくりは、玉の皮、星、火薬、導火線からできています。

玉の皮は、新聞紙などで作った皮の上に、和紙やクラフト紙のような、じょうぶな紙を何回も厚くはり合わせて、重ねたものです。

玉の皮の中には、黒色火薬という火薬が入っています。黒色火薬は、硝石（硝酸カリウム）、硫黄、木炭などからできています。

黒色火薬のまわりには、星とよばれるものが入っていて、これが美しい色を出します。

そして、花火に火をつける導火線が、火薬についています。（監修・青木 国夫）

打ち上げ花火（割物）のつくり

